

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

<b>事業名</b>	就職活動準備事業	担当部局庁	職業安定局派遣・有期労働対策部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度・平成24年度	担当課室	企画課求職者支援室	求職者支援室長 田中 佐智子			
会計区分	一般会計	施策名	I-2-1 第二のセーフティネット(求職者支援制度の創設等)を整備する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	就職に対する準備不足等から、すぐには求職者支援制度による職業訓練による効果が得にくい者に対し、個別カウンセリングや生活指導等による意欲・能力の向上支援や職業紹介を民間事業者に委託して実施することにより、求職者支援制度等の他の就職支援への円滑な移行や就職促進を図ることを目的とするもの。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	民間事業者を活用し、以下の支援を実施。 ①適性テストや性格診断等を通じた基本的な生活習慣、求職活動に関する意欲・知識等の改善支援 ②ジョブ・カードを用いたキャリア・コンサルティング、メンタルヘルスケア支援 ③履歴書、職務経歴書の作成方法、面接の受け方等についての講義、グループ討議等による支援 ④求人情報の提供、職業紹介等による就職の実現						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算			503	201	
		補正予算					
		繰越し等					
		計			503	201	
	執行額			1.5			
執行率(%)			0.3				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (23年度)
	就職等率 (就職等率=(就職者数+職業訓練受講者数) / 支援開始者数)	成果実績	%	-	-	支援実施中	30
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	支援開始者数	活動実績 (当初見込み)	人	-	-	665 (2,660)	- (-)
単位当たりコスト	平成23年度支援開始者に対する支援を実施中のため未算定	算出根拠	委託費(執行額) / 支援開始者数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	委託費	201	-	23年度に事業終了。 ただし、24年度は、23年度に実施した経過措置分として必要な予算を計上したところ			
	計	201	-				

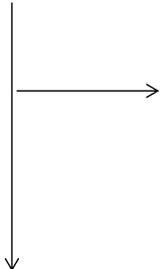
事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	就職に対する準備不足等から、すぐには求職者支援制度の受講により効果が得にくい者もいるため、これらの者のうち、一定の支援を行うことにより、今後職業訓練を受講し、就職の可能性が高くなると見込まれる者について、11都道府県労働局において、民間事業者へ委託し、意欲・能力の向上や職業紹介を実施し、求職者支援制度への円滑な移行や就職促進を図ることを目的とした事業であるため、優先度が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	本事業は、求職者支援制度への円滑な移行や就職促進を図ることを目的とした事業であることから、国が責任を持って実施すべき事業であるが、実施に当たっては支援のノウハウを有する民間事業者へ委託して実施した。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	入札の不調等により開始時期が年度の後半となったことから不用率が大きくなったため。
資金の流れ、費目・用途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業は、実施対象労働局にて公示を行い、企画競争により委託先を選定しているところ。
	△	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	実施対象労働局において、支援実績を確認し委託費を支払っているところ。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	本事業に係る委託費は、民間事業者が行った支援等に係る費用を対象としているところ。
活動実績、成果実績	△	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	実施対象労働局において選定した民間事業者の支援のノウハウを活用して支援を行うことから、実行性は高い。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	成果実績については、平成23年度に支援を開始した者に対する支援等が終了する8月末以降に判明する。
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	本事業の開始が入札の不調等により、年度後半となったことから活動実績が目標を下回ったところ。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	23年度の実施状況を勘案し、24年度の支援開始者に係る要求は行わないこととした。ただし、24年度は、23年度に実施した経過措置分として必要な予算を計上しているところ。		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			

※平成23年度実績を記入

厚生労働省  
(1.5百万円)

国

〔 地方労働局との連絡調整  
実績のとりまとめ 〕



B.事務費  
(0.0円)

〔 印刷製本費 〕

〔 予算示達 〕

都道府県労働局  
(1.5百万円)

〔 委託事業者の選定・指示等 〕



〔 企画競争 〕

A.民間事業者  
(2事業者)  
(1.5百万円)  
\* 23年度に費用が発生するのは、23年度中に委託契約を行った11事業者中2事業者のみ。

〔 求職者支援制度等の他の就職支援への円滑な移行等を目的とした各種支援 〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。費目  
 と使途の双方で  
 実情が分かる  
 ように記載)

A.キャリアバンク(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	本事業における各種支援の実施	1.2			
計		1.2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.民間事業者

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	キャリアバンク(株)	①適性テストや性格診断等を通じた基本的な生活習慣、求職活動に関する意欲・知識等の改善支援 ②ジョブ・カードを用いたキャリア・コンサルティング、メンタルヘルスケア支援 ③履歴書、職務経歴書の作成方法、面接の受け方等についての講義、グループ討議等による支援 ④求人情報の提供、職業紹介等による就職の実現	1.2	1 (企画競争)	/
2	人材ニュース(株)	①適性テストや性格診断等を通じた基本的な生活習慣、求職活動に関する意欲・知識等の改善支援 ②ジョブ・カードを用いたキャリア・コンサルティング、メンタルヘルスケア支援 ③履歴書、職務経歴書の作成方法、面接の受け方等についての講義、グループ討議等による支援 ④求人情報の提供、職業紹介等による就職の実現	0.3	1 (企画競争)	/
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					